

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式									
E111C004		算数(小)(Arithmetic (elementary school))															
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
必修	2	1	教育学部 平成31年度以前入学生 用			氏名 中川裕之  E-mail hiroyuki@oita-u.ac.jp 内線 7661											
授業の概要	小学校算数科の教科書に記されている内容について理解する。また、それぞれの領域のもつ特徴について理解し、2年次の算数科指導法(小)につなげる。																
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1 算数科の教科書に記述されている内容について理解し、説明することができる。																	
目標2 算数科の技能について確実に習得し、用いることができる。																	
目標3 数学的な見方、考え方について教科書の内容を通して理解し、働かせることができる。																	
目標4																	
目標5																	
目標6																	
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
授業の内容																	
1 ペアノの公理系に基づく自然数の定義とその性質																	
2 整数の加法と乗法																	
3 n進法の探究～十進位取記数法の理解の深化～																	
4 数の概念と表記																	
5 量と測定の意味とその原理																	
6 面積・体積の測定																	
7 新しい量の創造とその測定																	
8 図形概念形成について																	
9 演繹的な体系の理解																	
10 関数の考えとそれに基づく日常事象の考察																	
11 集合の考えとそれに基づく算数科教科内容の考察																	
12 表、式、グラフを用いた日常事象の考察																	
13 統計と確率																	
14 算数科における活用と言語活動について																	
15 算数科における問題解決と算数的活動について																	
ラーニング ポイント チェック グループ	A:知識の定着・確認 B:意見の表現・交換 C:応用志向 D:知識の活用・創造	教科の内容について解説するだけでなく、その解説に基づいて生徒への説明の仕方を考えたり、発展問題を解決したりする活動を毎回取り入れる。				工夫 その他											
時間外学習 の内容と時間 の目安	準備 学修	参考書や授業で紹介する書籍を読むこと(30h)															
	事後 学修	授業で提示する課題の解決に必要な数学を学習すること(20h)															
教科書	なし																
参考書	文部科学省『小学校学習指導要領解説 算数編』日本文教出版、2018																
成績 評価 の 方法 及び 評価 割合	評価方法	割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5	目標 6	目標 7	目標 8	目標 9	目標 10					
	算数科の教科内容についての理解や教科書分析に関するレポート課題	20%															
	期末試験を行うことで、授業内容についての定着を総合的に評価する	80%															
注意事項	なし																
備考	なし																
リンク																	
	URL																